

～「きらら」能代西高校を卒業～

生徒が学習の一環で約10年間飼育管理してきた、シェットランドポニーの「きらら」が同校を卒業し、「ポニーランド花立」へ搬送されました。

搬送当日の畜舎前には藤田校長をはじめ、教員と学校職員約20名が「きらら」が乗り込んだ搬送車が見えなくなるまで声を掛けては、手を振って別れを惜しみました。

令和3年3月末をもって、同市内の県立能代工業高等学校と統合することが決定しており、新校舎は現在増改築中の能代工業高校へ移転することから飼育継続が困難と判断し「きらら」の西高卒業が決まりました。



搬送車に乗った「きらら」に最後のニンジンを食べさせる藤原先生



集まった先生たち一人一人が顔を見て声を掛けていました。

生徒らは新型コロナウイルスの感染予防対策に伴い休校中のため、「これまで卒業生も含め、生徒らが愛着をもって飼育してきたので、みんなで「きらら」の卒業セレモニーを開催したかったが、残念で仕方がない。」と成田農先生は話します。

教員らが「きらら」の見送りに集まるなか「きらら」の好物の人参を持ち最後まで一人そばに寄り添う藤原暁人先生。

藤原先生は4年前に同校に赴任して以来これまで「きらら」にリンゴやニンジンを与えるなど人一倍誰よりも愛着をもって可愛がってきました。

藤原先生は「赴任してからの4年間、授業の合間や、休日にも部活動指導の合間をみて「きらら」のお世話をし、ほぼ毎日「きらら」の顔を見てきたので……」と大粒の涙を流しながら別れを惜しんでいました。



「サヨナラきらら～ また会おうね～」

引き受け手の「ポニーランド花立」を探し出したのも藤原先生。

インターネットで他校の前例を検索した際、見つからなかった場合には、辛い決断を迫られた学校もあったことから、藤原先生は必死の思いで引き受け手を検索し、同僚の先生方の協力も得ながら、「ポニーランド花立」から引き受け手としての了承を得ることができました。

藤原先生は「「きらら」はこれまで仲間が居なかったが「ポニーランド花立」には沢山の仲間がおり、これから楽しく過ごしてほしい」と最後に話してくれました。

新型コロナウイルスが沈静化したら「きらら」に会いに行こう！



『ポニーランド花立』は、鳥海高原「花立高原牧場」の中にあります。乗馬クラブ「アルビオン」も併設しており、小さなお子様から、本格的に乗馬を体験してみたい方、お年寄りの方まで、様々な形でお馬さんと触れ合って頂ける場を提供しています。

鳥海山を眺めながら、高原の休日を楽しみませんか
ポニーランド花立

住所：秋田県由利本荘市矢島町城内字花立90-1
0184-55-2711